

YOZO UKITA

art works

YOZO - Gk -
oil paint, canvas, paper, lac
1967-82

YOZO - Gk -
oil paint, canvas, paper, lac
1967-82



浮田要三の 仕事展

人間とは、悲しみの塊である。
その哲理を体得して、
行高する作品を制作する。
それが正に「生」そのものと考える手段ではない。
生きている間としての作品の制作こそが、
人間の本来と心得て
生ある限り生きるべきだと思っている。

浮田要三

A human being is a mass of sorrow.
With the realization of this philosophy,
I create works of art that have a stance.
These creations are explicitly from "life" uncalculated by thought.
I think that the creation of these works is a proof of life,
the true toil and understanding of a human life
that should be lived to the fullest.

YOZO UKITA

2015. **7.28** (火) - **8.23** (日) Room 1.2.3. (4F)

11:00-19:00 (最終日 16:00迄) 月曜日休館

大阪府立江之子島文化芸術創造センター・enoco

大阪府立江之子島文化芸術創造センター
Enokojima Art, Culture and Creative Center, Osaka Prefecture

〒650-0006 大阪府西区江之子島2丁目1番34号

Tel. 06-6441-8050

art@enokojima-art.jp

www.enokojima-art.jp

主催：「浮田要三の仕事展」実行委員会

協力：enoco, LADS GALLERY

【アクセス】大阪市営地下鉄千日前線・中央線「阿波座駅」下車、
8番出口から西へ約150m、徒歩約3分。

Yozo Ukita

2015. **7.28** (火) - **8.23** (日) Room 1.2.3. (4F)

11:00-19:00 (最終日 16:00迄) 月曜日休館

大阪府立江之子島文化芸術創造センター・enoco 大阪府立江之子島文化芸術創造センター
Enokojima Art, Culture and Creative Center, Osaka Prefecture



Mr. Ukita
oil, paper, canvas, hemp cloth
1964



MICHAEL JACKSON
oil + acrylic paints, canvas
2012

You and Me
oil, paper, canvas, hemp cloth
1994



Lead Bridge
oil + acrylic paints, canvas,
lead, hemp cloth
2002



江之子島C(enoco)から眼と鼻の先の西区本田町2-44に、かつて浮田要三と星芳郎の二人が編集と発行をする日本童詩研究会があり、そこで童詩と歌画の雑誌「きりん」が発行されていた。
1986年に発行された「きりん」第1、2号の表紙は星田和であったが、3、4号は、浮田は吉原治良に依頼、油彩画「縄とびをする少女(6号)」が提供された。この作品をみた浮田は「絶品であった。一瞬涙がとく思いでいた。最上級の情熱がこめられていた」と述べている。
これをきっかけに、浮田と吉原治良、関西の画家たちは、児童画を共通項とした関係が深まってゆく。「具体」の機関紙第1号は、浮田要三から印刷機を借りて製作されたという。「きりん」の表紙は、吉原以外にも、伊藤雄一郎、須田勉太、山崎勉夫、小磯良平、井上竜造、東貞美、そして田中敦子、白髪一雄、山崎つる子、元水正史ら、具体の作家たちがけており、1975年に浮田は「具体」の会員となる。この機会に西区本田町かりの浮田要三の世界を、是非知っていただきたい。

中塚宏行 (大阪府府民文化活動部都市魅力創造局 文化・スポーツ課 文化創造グループ研究員)

浮田要三 仕事展

大阪市西区本田が発行所、童詩雑誌「きりん」(1948・62)に青春をさせた「具体」の画家
浮田要三は、井上靖・竹中郁・坂本達などの企画による「きりん」という子どものための詩と絵の雑誌の編集、発行に青春の情熱をそそいだ編集・出版人であり、その表紙の依頼や子どものモダンアートによる「きりん展(1975)」などを通じて、吉原治良と「具体」と出合い、そのメンバーとなった画家である。浮田自身は「きりん」に携わっていた1948-1962年の15年間で、もう自分の仕事は終えたと言っても良いくらいだ」と語っている。その画家の本格的な展覧会が、絵画50点などによって、大阪府立江之子島文化芸術創造センター(名称待定)で開催される。

8月8日(土) 15:00-16:30 浮田要三を語る会 会場: 4階

- おーなり 山子 (漫画家・エッセイスト)
井上明彦 (美術家)
堀尾貞治 (元 具体)
金川富紀子 (保育造形の会研究員)

17:00-19:00 出版記念パーティー

会費: 1万円 (作品集込み)
会場: B1 ninOval cafe
要予約: LADS ギャラリー
Tel/Fax: 06-6453-5706
Email: lads@sea.plala.or.jp
関連イベント: ヴィデオ上映
NHK ラジオ深夜便「ころの時代」出演



A Negative Negative
oil + acrylic paints, canvas, hemp cloth
2014

主催: 浮田要三の仕事展 実行委員会
協力: 大阪府江之子島文化芸術創造センター / Enoco・LADS ギャラリー

浮田要三の仕事展 実行委員会事務局
〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-39 メリキヤス会館 102号 LADS ギャラリー内
Tel./Fax: 06-6453-5706 E-mail: lads@sea.plala.or.jp



How Do You Do
oil, paper, canvas, cardboard
1994